

起因物、事故の型：食品加工用機械 - はさまれ巻き込まれの死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	業種小 コード	労働 者規 模
1	14～ 15	食肉加工室において、得意先より受注した豚ひき肉を製造作業中に、1次加工のグラインダーより排出となったひき肉を、2次加工のミートチョッパーに原料投入の担当をしていたとき、投入口に脂の付着を発見し、本来はつき棒を使用して落ち込みを行っていたが、左手で落とし込もうとして、スクリューに左手を巻き込まれ、左手半分を切断した。	63	10101	100 ～ 299
1	14～ 15	当事業所工場内にて機械清掃中、麺のかき寄せ機の棒に手を挟み、右手甲を打撲した。	28	10109	50～ 99
1	8～9	第2工場包装室内に於いて、練り製品ラミ入れ作業中、製品の位置を直そうとして機械内部に右手を入れてしまい、右手第二指第一関節付近をカッター部に挟み、4針縫う怪我を負った。	28	10102	100 ～ 299
1	12～ 13	食品製造工場で掃除をしている際、餃子を作る機械の電源を入れた状態でカウンタークロスを使用して拭き掃除をしていたところ、餃子が流れるレーンの上の押し出し口部分に右手親指を挟まれ、すぐに指は引いたが骨折してしまった。	35	10109	10～ 29
1	13～ 14	飲料充填の為の工場内において充填作業中にケーサー（集積機）のトラブルが起きたので、トラブルの対応中に機械に指を挟み、右手人差し指を切傷した。	37	10101	30～ 49
1	16～ 17	工場内において、製造終了後の豆伸ばしコンベアー機械拭取清掃作業時、ウェスを使用しコンベアーを動かしながら拭き取っていた所、コンベアー上部に設置されているローラーに右腕が接触し、右腕が引き込まれ、コンベアーとローラーに右腕が挟まった状態となった。	58	170101	10～ 29

1	11～ 12	揚物工場2階凝固ラインを清掃していた時、高圧洗浄機ポンプを停止させないで（清掃ルールは必ず停止）左手薬指をポンプに入れ挟まれ、左手薬指の骨折を負った。	48	10109	～ 299
1	10～ 11	事業所店内の製麺室にて製麺中、麺帯を製麺機のローラーへ押し込む際、誤って手を入れてしまい指が巻き込まれ、左手中指薬指の第一関節の粉碎骨折し、同指に深い切創を負った。	26	140201	1～9
1	20～ 21	包装場にて、スティック梱包機が稼動中異音に気づき点検をした際、スティック梱包機の計量上昇のカバーがずれており、定位置に戻そうと機械を停止させず、カバーを掴んだ為前後に動いているシリンダーに左手中指を挟み負傷した。	44	170101	500 ～ 999
1	14～ 15	ミソ製造をする際に、茹でた大豆を電動ミキサー（大豆すり機）に投入して、ミンチ状にする工程が終了すると、ミキサーヘッドの中に大豆が少し残ってしまう。通常は電源を切ってから、ミキサーヘッドやその中で回転しているスクリーロールを外して分解清掃する。被災者は10年以上のベテランで指導的立場にあり、毎回そのようにしていたが、今回はミキサーヘッド内の残骸大豆をとるため電源を切らず、作動中に本来絶対に触れてはならない大豆投入口に手を突っ込んでしまったため、手袋が巻き込まれて手が引き込まれ、右手中指先端を切断してしまった。	63	10109	1～9
1	21～ 22	当店調理場にて、フライヤー電熱器の跳ね上げ掃除中、ストッパー左側に右手が接触してしまい、ストッパーが解除され手前に倒れてきたところ、電熱器に右手中指を挟み負傷した。	38	80209	—
1	14～ 15	当社派遣先である製造5部の大福製造工場において、機械に餅が付着していたため取り除こうとした被災者が、作動中の機械に触れ右手示指を挟まれて爪が割れ出血した。餅を取り除くときは、機械を止めてカバーをつけた上、安全手袋をはめて行うこととなっているが、機械が作動中に通常の手袋のまま機械に触ってしまった。	25	170101	1～9
1	13～	ペットフード原料製造開始前に、麺切り機のアルコール洗浄する際、電源を切らず安全ガードカバーをはずして行ったため、ローラーに右手を	26	10102	50～

	14	挟まれてしまった。			99
1	16～ 17	本社工場構内にて製粉作業を終了後、杵を順番に上げていく際、ロックが不完全だったために、杵が手の上に落下し負傷した。	61	10109	10～ 29
1	6～7	自社店舗内でパン生地を伸ばしているとき、生地が機械に付いたので取ろうとしていたとき、右手が機械内に入ってしまった。	56	10104	1～9
1	11～ 12	粉摺り機で作業中、粉昇降機が詰まり、粉を取り除く際に電源を切るのを忘れて作業を行い、機械が急に動き出して昇降機下のらせん部分に指を挟まれ、右手人差し指と中指を損傷し、中指に粉碎骨折を負った。	61	80209	1～9
1	11～ 12	仕込室でスライサーで白菜をスライスしている時、手で白菜をスライサーに押し込んだために誤って右手中指先端を切創した。	48	140201	50～ 99
1	10～ 11	コロツケを製造する為、ミンチを成形する時、型取り機作動中、機械に挟まっていたミンチを取り除こうと電源を切ったが、機械が完全に止まる前に誤って機械の一部分ローラーに触れてしまい、右手第2指が挟まれた。	62	80209	1～9
1	23～ 24	おにぎりを製造する時に使用する加工ピローA飯成型機が、正常に作業しない為、修理をしようと成型機の蓋を開けた。蓋を開けると安全装置が作動するが、機械が止まると不具合箇所がわからない為、少しずつ成型機を動かし対応しようとした。手を入れて不具合場所を確認しようとした時、プレスと円盤に左手小指を挟まれ負傷した。脱臼と診断され、左手小指第一関節から切断する事となった。	41	10109	300 ～ 499
1	9～ 10	当社工場内に於いて、いつものようにパイローラーを使用する前に清掃するため、タオルを敷いて右手で掃こうとし、足でペダルを踏む機械を踏み間違えてしまい、右手指が挟まり負傷した。	21	80209	1～9
1	7～8	パン製造機でパンを製造するため、パンの生地を投入口に入れていた際、生地を送るローラーに右手を挟まれ、右手人差し指先を切断した。	37	140201	—
		製造室にて、麺帯を伸ばしてカットする機械のカッター下にある鉄板部分を清掃しようとしていた。機械の停止ボタンを押したが、完全に刃が			100

1	1~2	停止する前に、カッター部の下に左手を入れた為、動いていたカッターの刃によって、左手の第2~4指が第一関節部分で切断された。	60	10109	~ 299
1	1~2	粉碎工程にて運転不調があり、被災者が支援に入った。乾燥機出口のサイクロン下部ロータリーバルブからの粉末排出が悪いため確認しようと、出口側のパイプから右手を入れたところ、ロータリーバルブの回転体に中指を挟まれた。	25	10102	100 ~ 299
1	16~ 17	麺製造工場1階にて麺を製造している時、2階で麺がたまり、1階から2階へ麺を運ぶチェーンと麺をかけている棒がからまり、そのからまりを直す為チェーンを引っ張った時、チェーンと歯車の間に指がはさまり、左手薬指を負傷した。	41	10109	10~ 29
1	19~ 20	厨房で製麺機を使用後、製麺機の清掃をするため機械の中のくずを掻き出す空運転をし、機械下部のローラー脇のくずを指で取り除こうと椅子から立ち上がった時、持病の腰痛の影響により体勢を崩してしまい、指がローラー脇の歯車に挟まれ切断した。	59	140201	10~ 29
2	12~13	厨房にて、スライサーで大根を切っている際、誤って刃の部分で、右手人差し指を切ってしまった。	57	80209	1~9
2	11~12	当社食肉加工場で、ミートチョッパーを用いて挽き肉にする作業中、原料が機械に詰まり、それを取り除こうとした瞬間、右手人差し指と中指が機械に巻き込まれ切断した。	27	80109	10~ 29
2	18~19	店舗内の蕎麦打ち場で、蕎麦打ち機の清掃中に、ロール部分に付着していたそば粉を取ろうとした時に、誤って指が挟まれてしまい左手の指を負傷した。	38	140201	1~9
2	15~16	当社工場内にて、被災者がパンの生地を練る横型ミキサーを清掃作業中に本来は機械を止めて清掃しなければならないと指導されているが、復帰ボタンを押し、機械の開閉部分が閉まってくる間に機械の奥を右手で拭き上げをしていた際に、閉じてくる機械に間に合わず、頭が挟まり左耳の前部分を負傷、また閉じてくる機械を左手で強く押さえたため、左	69	10104	1~9

		手中指第1関節付近を切傷したものである。			
2	10~11	厨房内でパセリを裁断しようとして裁断機に入れたところ、パセリが進まないでカバーを外しパセリを送ろうとした際に、左手が滑り、左手の指先を裂傷した。	66	140209	—
2	6~7	食パンラインで作業中、パンの生地の状態が荒れていたため、ストレッチャー（機械）のカバーをあけ、バーに絡まっている生地を取り除こうとした際に、カバーを上へ上げようとした際に上にある操作盤（左右に回転する）に当たりその弾みでカバーを持っていた右手が外れ、カバーが落下した。咄嗟に左手を引いたが間に合わず、カバーの側面の一部に挟まれ、左手小指の爪の付根より切断した。	24	10104	500 ～ 999
2	13~14	冷凍おにぎり製造工場内で、成型作業中に成型機で指を挟み負傷した。傷病部位は右親指である。	31	80109	30～ 49
2	10~11	工場内にてパンの生地を平らに伸ばすための機械（モルダー）を操作中、生地が詰まったため手で押し込もうとした際、機械が動き出し、右手が巻き込まれた。	24	10104	100 ～ 299
2	15~16	工場でおびとりマシーンを動かしている時、カッターで手を挟んだ。右手薬指骨折。	23	10104	—
2	4~5	ウエスを手に巻き付けて、清掃モード用スロー回転で、アタッチチェーンを清掃中、ウエスがチェーンに引っ掛かりチェーンと sprocket の間に指を巻き込まれた。	42	10104	50～ 99
2	10~11	解体室のラピッド（と体上半身バラシ機）でキャリアに、上半身と体を掛ける作業をしていた。その時ラピッドの一部にヤゲン軟骨が溜まっているのに気付いた。そのヤゲン軟骨を取り除こうとしたところ、移動中のキャリアと接触してしまい、左手人差し指を創傷した。	63	10101	100 ～ 299
3	11~12	味噌づくり加工指導中、大豆が煮えたことから味噌潰しのホッパーに大豆を入れ、潰し作業を開始した。終盤に差し掛かった時点でホッパー吐出が詰まったことから、一旦電源を止め、吐出口カバーを外し、へらで	77	170209	1～9

		螺旋軸を掃除しようとするが、その際膝が金口スイッチに触れたため電源が入り、へらが右手から外れ、ホッパーに右手が入り、右手の指3本を切断した。			
3	12~13	レストランの厨房で調理作業中、麺を押し出す機械に生地を入れたあと、左手で押し出し部の可動レバーを操作中、生地の投入部付近にはみ出していた生地が気になり、右手親指で投入口に戻そうとした際、誤って右手親指先端部を挟み負傷した。	23	140201	50~ 99
3	9~10	揚玉を脱油機に移動するバケットコンベアのチェーンが外れていたため、元の状態に戻そうと試みたところ、チェーンと歯車の間に左手中指が挟まれ一部欠損した。	62	10109	10~ 29
3	11~12	当社工場内ベーカリーライン包装機において、梱包作業中、梱包用のフィルムが無くなったため、新しいフィルムと交換し包装機を動かしたところ、フィルムが詰まってしまったため、包装機を一度止め、詰まりを排除したあと再度動かそうとしたが、朝から包装機が不調でラインが遅れていたために焦ってしまい、本来「フィルム手動」のスイッチを押してフィルム先端を排出側まで送ってから起動ボタンを押すが、「フィルム手動」のスイッチを押さずに起動させたため、本来動かないトップシーラーにフィルム先端を引っ張っていた左手人差し指を挟まれ負傷した。	20	10109	50~ 99
3	7~8	C生産仕込室にて、アイテム切替時にベルトを停止し清掃作業を実施した。清掃終了後の稼働時に生地残渣を発見し除去しようとして手を入れてしまい、ガイドに手を巻き込まれた。	30	10104	100 ~ 299
3	15~16	センター内餃子成型機の清掃中、成型機を拭いているときにセンサーから手が離れ、回転ローラーが作動して左手を巻き込まれた。	45	10101	100 ~ 299
3	16~17	深絞り真空包装機で厚焼き玉子の包装中、上材フィルムがなくなったことに気づきタッチパネル操作盤のストップボタンを押し、下材フィルムが熱板にくっつかないように下材フィルムを押し下げているところ、ボ	45	10109	50~

		タンがきちんと押されていないため、下側の金型が上昇してしまい上下の金型に挟まれて火傷した。			99
3	11~12	食肉加工工場内にて、自動肉切断塊（ベンディングスライサー）で牛肉の焼肉商品を製造中、機械の自動研磨の後、まだナイフが回転中のところに右手中指第二関節より先を当て削いでしまった。	36	10101	50~ 99
3	17~18	作業終了後にプレス機の洗浄をしている時、左手をプレス機の上に置いてスイッチを入れたことにより上下に動き、手の甲を切ってしまった。	36	10103	30~ 49
3	18~19	ウインナーの充填作業中、3号ラインで作業していたが、2号ラインの調整を行うために3号ラインの自分の持ち場から離れ、2号ライン側へ身体を向けた際、被災者は、本来2号ラインで作業する位置とは反対側から機械を調整しようとした。パッキン取付部に指を入れ調整しようとした際、2号ラインの作業着が起動スイッチを押してしまい、充填ノズルとパッキン取付部に左手第五指を挟まれ被災した。	27	10101	500 ~ 999
3	15~16	製品作業場の凍結準備室でメンチカツの製造中、成型する機械にメンチカツの具材をホッパー内に補給する作業中に、右手でホッパー内の具材を押し込んだ際にホッパー内の具材が少なかった事で、スクリューに右手が巻き込まれ、右手の平を損傷した。	51	10109	10~ 29
3	9~10	作業所内でキムチの攪拌が終わって、バットにキムチを入れ終わったので、機械を止めるように言ったつもりだったが、声が小さかったのか相手に伝わっておらず、自分は止まると思い込んでしまって、少し残っているものをとろうとして機械に巻きこまれて、右腕を骨折し、指のつけ根を切った。	65	10103	1~9
3	9~10	工場内包餡機の調子が悪いという報告を受け、確認すると包餡後の商品に傷が見られたため、機械を一旦停止し調整を行った。調整後、パート職員に調整後問題なく動作していることを動作確認しながら調整箇所を指差しで説明していたところ、誤って上下動作をしているリングと調整箇所の方に指が挟まれ負傷した。	29	10104	100 ~ 299

3	9~10	派遣労働者として勤務していた被災者が、下処理場にて生姜のすりおろし作業中、すりおろし器のスイッチが入っているのを確認したが、作動しなかったため、材料が詰まっていると思い、確認しようとしたら突然動き始め、触れていた右手が回転部に触れて示指と中指を受傷した。	45	10103	100 ~ 299
3	11~12	製麺工場ミキサーステージにてミキシング作業をしている時に、ミキサー運転中に蓋を開け、センサーが働いて停止しようとしている時に、完全に停止していない状態のところに、手をミキサー内部に入れて、右手首をミキサーピンと胴の間に挟んでしまった。麺カスを再利用するために投入していた物をどかさうと手を入れてしまった。	48	140201	1~9
3	11~12	茹卵製造工程の卵の殻をむく工程の水が詰まり、それを解消する為に配管のフタを落としてしまい、水流に乗って卵かく搬送コンベアまで流れて行ったフタを追いかけて、かき上げ部に入らないうちに取ろうとし、動いているスクレーパー部に腕を巻き込まれ骨折した。	52	10109	100 ~ 299
3	9~10	被災者は製造課味付担当主任であるが、当日は包装機の作業に加わっていた。朝、生産開始されるラインにて海苔の切断状況等の確認中、海苔送り爪の不良ヶ所を発見し、様子を見ようとしゃがみ込み覗き込んだところ、手を出してしまい、回転していた海苔送りチェーンとスプロケットに右手人差し指から小指まで挟まれ負傷した。	38	10102	50~ 99
3	16~17	工場内でジャーキー肉をスライスする機械メンテナンス作業中（油をさす作業中）、油をなじませるために機械を作動させた際、誤って右手の中指と薬指を機械の刃の部分にはさまれ、指の肉と骨を縦に3つに切られた状態となった。	45	10109	1~9
4	13~ 14	施設外就労先の豆腐工場内にて、機械洗浄の作業中、豆計量機のスイッチを切り忘れ、労働者の不注意により危険箇所へ右手を入れてしまい、右手示指・中指の末節部を切断した。	35	130201	10~ 29
4	15~ 16	工房内で、アームミキサー（生地を作る機械）を使用して饅頭生地を作っている際に、小麦粉を投入した後に小麦粉が容器からこぼれ落ちるのを防ごうとして、左手をアームミキサーの中央に入れてしまったた	27	10104	100 ~

		め、交差する左右のアームに左手のひらを挟まれ負傷した。			299
4	14～ 15	工場でイカの耳をリングスライサーで処理しているとき、イカの耳が下のベルトにはさまっているのを取ろうとし、誤って左の薬指を負傷した。	27	10102	100 ～ 299
4	10～ 11	製造2課1号笹かま成形ラインで、笹かま成形作業中、串抜けトラブルセンサーが点滅したため確認したところ、2本抜けていた。1本は床に落下していたが、もう1本は串搬送ポケット部に落下しているのを発見し、生肉の下に串があると思い、肉を素手で取り除こうとした際、隙間に指が入り巻き込まれ負傷した。	19	10102	100 ～ 299
4	15～ 16	1階仕込室で蒸練機の洗浄中、羽を手動で逆時計回りに動かした。その際に洗剤で手が滑り、右手小指を練出口と羽の間に挟み、右手小指を裂傷および骨折した。	61	10104	100 ～ 299
4	9～ 10	セントラルキッチン工場内の皮剥ぎエリアで、スキナーで皮剥ぎの作業中に、牛たんを押さえようとした際に左手手指を損傷した。	29	10109	100 ～ 299
4	10～ 11	キッチンにあるアイスクラッシャーで氷を砕いている際、受け皿がいっぱいになったため左手を氷噴出口に入れて氷をかきだそうとしたところ、人差し指が回転している刃に巻き込まれ、5cmほどの裂傷を負った。	32	140201	50～ 99
4	12～ 13	調理室でおやつ調理の為、人参をブレンダーにかけた後、本体から刃のついた接続部分を外そうとした際、電源プラグを抜く前に取り外し作業をしてしまい本体スイッチボタンに誤って触れて、回転した刃に巻き込まれ右手中指を被災した。	31	130201	10～ 29
4	10～ 11	惣菜作業場にて巻寿司を巻いている時、焦っていたため、誤って機械の金具に右手薬指を挟んだ。	28	80209	100 ～ 299
		事業所内にある、あんころ餅を製造する工場内で、包あん機を作動させ			

4	12～ 13	た時に出発のあんが乾いているのを発見し、機械を停止させるボタンを押して機械を停止させたつもりが作動ボタンを押し、機械の停止を確認せずに右手を入れてしまい、機械に挟んだ。	50	10104	10～ 29
4	12～ 13	わさび茎を洗浄する機械（幅1.2m長さ4m高さ0.8m）の角型水槽で、ステンレス棒にビニールの管（熊手の様な形）が付いた搬送コンベヤーでわさび茎を洗い洗浄する。作業が終わり、水槽の水を排出し始め、機械の清掃を始めたとき、搬送コンベヤーは動いていた。水槽内の底の隅の方に残っていたわさび茎を前屈みになって取ろうとしたところ、回転している搬送コンベヤーと固定されている駆動軸の間に左腕を巻きこまれた。	29	10103	30～ 49
4	10～ 11	本社工場内で型枠から降りる際に足を下ろした所、別の型枠がありその型枠の上に足を下ろしてしまい、足を捻りながら転んで足首を骨折した。	46	170101	300 ～ 499
4	11～ 12	店内にて、ピザ生地をミキサーで混ぜ合わせているときにまわっているミキサーの中にプラスチックのタッパー容器が落ち、とっさに拾おうとしたところ、ミキサーのアームに巻きこまれ左手の手の甲に裂傷し、出血が多くあった。	26	140201	1～9
4	10～ 11	工場内のパスタ押し出し成形機を稼働中に、コンベアから成形機に入る入口で粉の流れが悪くなったので粉を均そうとした。機械が止まっていると思いフタを開けて手を入れたが、機械は止まっておらず、回転している板に指を巻き込み右手の人差し指、中指、薬指を切断した。	26	10109	50～ 99
4	10～ 11	事業所内で、ごはんの梱包作業中、機械の一部にごはんがつき、それを取り除こうとしたところ、次に流れてきた製品と機械の間に右手薬指を挟んでしまった。	51	10104	10～ 29
4	10～ 11	派遣先工場内で、ごはんの梱包作業中、機械の一部にごはんがつき、それを取り除こうとしたところ、次に流れてきた製品と機械の間に右手薬指を挟んでしまった。	51	170101	100 ～ 299
		ライン生産中に、坐り機内のかすをヘラで取ろうとして、稼働（回って			300

4	9～ 10	いる) している坐り機内に左腕を入れたところ、作業服がベルトギアに巻き込まれてしまい左腕上腕部（二の腕）、左脇腹を挫創した。	29	10102	～ 499
4	10～ 11	ムネ解体機ササミ採取ライン上にてササミ採取作業中に、右手が機械内部に巻き込まれ、右手中指指先を切断した。安全措置を通り越し、機械内部へ手が入り込める構造であったことと、作業に追われ機械内部に近い位置で作業を行っていた可能性が考えられる。	56	10101	300 ～ 499
4	11～ 12	工場内のキャベツの芯取り作業場で洗浄機を3人で移動の為、ハンドリフトに乗せる作業中、洗浄機を降した時に洗浄機とリフトの端にはさまれ、左手小指の先端から多量の出血と、4cm程の切傷及び爪の部分が内出血で黒ずみ指の痺れが生じた。	72	10109	50～ 99
4	10～ 11	第一工場にて飴を成型する作業中、機械に飴がくっついて作業が止まったため、機械からくっついた飴を取り除く際、左手を駆動部分にかけた状態だったため左手人差し指を挟んでしまい切断した。	29	10104	30～ 49
4	10～ 11	工場内での栗の製造工程において、製品の整形機のベルトに汚れをみつけたのでタオルで拭きとろうとした際、機械を止めずに行ったためタオルが機械に巻きこまれ、慌てて取ろうとしたときに自分の右手をローラーに巻き込んだ。	67	10103	50～ 99
5	7～8	工場内で、湯煮させたよもぎを味噌醸造機械でミンチしている作業中、機械の中で隅に溜まっていたよもぎを落そうとして、熱い大きめの手袋をはめていた為、手袋と一緒に左手を巻き込まれた。	63	10109	10～ 29
5	3～4	食品製造工場の和菓子仕込室にて、粉付け機の粉交換を実施していたところ、通常通り運転した状態で粉を取り出していたが、被災労働者が粉を早く落そうとして、粉付け機の回転部に右手を入れてしまい、右手が巻き込まれて中指の爪が剥がれた。	42	10104	500 ～ 999
5	3～4	和菓子の粉付け機の粉の詰りを除去しようとした際に、カバーのメッシュ板（ステンレス製）を外して作業をしたとき回転部が低速だった為、手で粉を取ろうとしたときにタイミングが悪く、指を挟んでしまっ	42	170101	100 ～ 299

		た。			
5	17～ 18	ベーカリーコーナーにおいて、モルダー（パンの生地をのばす機械）の清掃中にパンのくずが見えたので取ろうとし、取れなかったのでモルダーのスイッチを入れて動かしながら取ろうとした時、持っていたタオルがローラーに巻き込まれて右手人差し指が挟まれた。	38	10109	30～ 49
5	17～ 18	当社工場内で、ゴマをすり潰す機械の点検作業中、誤って回転する機械に右示指と中指が巻き込まれてしまった。	56	10109	10～ 29
5	11～ 12	清掃作業中、回転釜に頭を挟まれ、頸部を圧迫された。救出後に脈微弱で呼吸も浅いため、心臓マッサージを行った。災害発生原因についての詳細は現段階では不明であるが、同作業の状況を記録した防犯ビデオがあり、警察に提示済みである。	48	10109	30～ 49
5	10～ 11	調理場の1階調理室内で、釜で調理した鶏肉と野菜のトマトソース煮を配缶する際、釜の蓋（重さ約7～8kg）が突然閉まり、頭部及び左腕に当たった。左腕が腫れるとともに痺れが出た。	20	10109	10～ 29
5	6～7	作業所にてエアプレス機を使用し、豆腐を圧押しするためエアプレス機の下降レバーを下げ、下降させた時に誤ってプレス板と豆腐押し板の間に指を挟み、左第二指を受傷した。	53	10109	1～9
5	6～7	製麺室で複合機の圧延ロールの隅に付着した麺のカスを取るため、タオルを使い圧延ロールを拭き上げる作業をしていた。この作業は本来機械を完全停止した後に行うことになっていたが、時間を短縮しようとして、機械を停止させずに作業したためタオルと共に左手をロールに巻き込まれた。	29	10109	50～ 99
5	10～ 11	工場内作業中、グリーンアップという機械でローラー回転部の下に茶葉が落ちるので、落ちた茶葉を掃除していた時、回転部は危険なので手を出さないよう注意していたが、回転部にある茶葉を取ろうとして指を入れ挟まれた。	36	10109	1～9
		だし用鰹節原料処理の粉碎工程にて、削り節を粉碎機上部のホッパーに			

5	10～ 11	投入作業中、ホッパー内部で原料の詰りが発生し、機械が稼働した状態で怪我防止用網柵を開け手を入れた時、送リスクリュウフィーダーに左手中指の先を挟み込まれてしまった。	59	10102	—
5	9～ 10	ゼリー充填機運転中、ゼリー容器の冷却装置に右手人差し指を挟まれ指先を負傷した。	48	10104	1～9
5	14～ 15	工場のネタ場において、練り機にて生地をつくり、容器から出す作業をしている際にボタン操作を誤り、容器の蓋が開いている状態でミキシング（羽根）部位が起動した為、左手を巻き込まれ負傷した。練り機（紛体混合機）容器30?程。	20	10104	100 ～ 299
5	12～ 13	本社工場にて、タルト生地をのぼすパイローラーにて作業中、ローラー部付近に付着した生地を除けようとパイローラー左側より、ローラー部に手を差し伸べていたところ、誤ってローラー稼働用の足踏みペダルを踏んでしまい、自身の左手（第1～3指）をローラーに挟み込み負傷した。	20	80209	10～ 29
5	12～ 13	おからを外のタンクに搬送するための機械（ロータリーフィーダー）にて、ビニールに入っているおからを機械で廃棄している際に誤ってビニールを落としてしまい、ビニールを取ろうとして機械とおから受け器に指を入れ、右手中指先端約1cmを切断してしまった。	37	10109	50～ 99
5	10～ 11	充填室で茶碗蒸しを製造している時、トップフィルムを押える棒でフィルムが既定位置よりずれていた為、ズレを直す為にフィルムに手を掛け調整していたが、目を離れた際にフィルムと一緒に手が持って行かれ、棒とバケットの間に入ってしまった。	31	10102	30～ 49
5	10～ 11	工場内で厚焼焼成機の洗浄後、焼成鍋の中をタオルで拭く作業中に、掻き混ぜ装置受け板の角度がついた箇所で作業し機械が動いた際に、早く作業を終わらせようと決められた場所から少しずつ上流に移動し、作業禁止エリアで鍋拭きを行い、角度と鍋の間に手を挟み、右手の指先を被災した。	21	10109	100 ～ 299
		生麺製造工場にて、縦型ミキサーを使い麺生地のミキシング作業を行っ			

6	14～ 15	ていた際に、機械の停止スイッチを押した後に完全停止を視認する前に下部排出口を開け、生地を掻き出すために手を入れたため、ミキサー内部の部品に巻き込まれ、左手中指を三針縫う怪我を負った。	24	10109	30～ 49
6	8～9	精肉作業場において、豚肉のスライサー作業中に、左手人差し指が機械に巻き込まれて切傷した。通常、指が入らないようにセッティングされているが、この日はその装置が外れていたため、指が巻き込まれてしまった。	42	80209	50～ 99
6	13～ 14	仕込室にてクッキー生地の混合中に、2工程前の混合時に、回転式パンチングメタルの小麦粉ふるい機が粉詰まりを起こした為、状況を確認しようとしてスイッチを切り、排出ノズルを取り外し、詰まり具合を確認しようとしてホース内に手を入れたところ、パンチングメタルがまだ回転していて、接触して巻き込まれた。	57	10104	100 ～ 299
6	17～ 18	店舗内の製麺機に、誤って手を入れてしまい負傷した。	20	140201	10～ 29
6	15～ 16	店内製麺室にて製麺機を使用して製麺中、麺体を伸ばすローラーに指2本（右手中指と薬指）を挟み込んでしまった。原因は、麺体を右手で追いかけてしまったため、また、出来るだけ右手の指先は使わない様にしていたが、咄嗟に使ってしまったためである。	21	140201	1～9
6	10～ 11	製麺室にて、店舗用のうどんを製麺機でカットする作業に従事している際、ローラーに麺が真っ直ぐ入らず、ずれてしまったのを修正しようとして手を添えた時に、ローラーに左手指先端を巻き込み受傷してしまった。	47	140201	10～ 29
6	17～ 18	店舗内厨房において、ドーナツ生地を捏ねている作業時に、ボールに卵を入れるためヘラで卵を払ったところ、ビーターが来てしまいミキサーとビーターに右手甲を挟まれて負傷した。	20	10104	1～9
6	10～ 11	就業場所（派遣先）で、作業設備の片付け清掃時に（自動運転中）、ヘラが落下した際、咄嗟にヘラを取ろうと手を伸ばし、機械に巻き込まれた。	66	170101	—

6	10～ 11	就業場所（派遣先）で、作業設備の片付け清掃時に（自動運転中）、ヘラが落下した際、咄嗟にヘラを取ろうと手を伸ばし、機械に巻き込まれた。	66	10101	100 ～ 299
6	11～ 12	事業所内にて、肉の筋きり器を掃除していた際、指を挟んでしまい抜けなくなり、右手の人差し指と中指の指先を骨折した。	47	140201	1～9
6	16～ 17	工場内にて生産中に、裁断機第二カッター下のスプロケット（歯車）に挟まった揉み海苔片を機械停止せずに手で取り除こうとし、右手中指爪の付け根を駆動中のスプロケットとローラーチェーンに挟まれ裂傷、切断した。	59	10102	100 ～ 299
6	13～ 14	当社工場内において、掃除の為に、自動茹麺玉取機から内部にあるキャップを外す作業をする時に、キャップが外れない為、機械の電源が入ったままキャップの中心の穴に指を入れて取ろうとしたところ、差し入れた左手中指先端を7.5mm程欠損した。	42	10109	10～ 29
6	9～ 10	派遣先工場内で、液体が充填されたゼリーカップをライン機械から取り外す作業をしていた時、取り外せずに流れてしまったゼリーカップを追いかけて取ろうとし、機械に左手人差し指を巻き込まれてしまった。なお、派遣先からの注意・指揮・指導はなされていた上で、危険ラインを超え手を伸ばし負傷したものである。	48	170101	10～ 29
6	20～ 21	店舗厨房にて、細巻きロボのローラーを外していた時、電源を切っていなかった為、誤ってカッターが作動し、右手人差し指を裂傷した。	16	140201	50～ 99
6	9～ 10	当社の味噌等製造工場内において、蒸した米・糀等を攪拌機（以下、「機械」と言う）により攪拌し終わったので、それらを他に移し、後仕事として機械の出口付近に不着した糀等の残りを左手により掻き出していた。その際、他の職員が被害者の作業を十分に確認することなく機械の回転レバーを作動させた為、左手の指3本が機械の回転羽根と接触し、負傷した。	64	10109	1～9
	14～	工場内でチェリー豆に砂糖を絡める作業中、ヘラでミキサー内壁にこびりついた砂糖を取っている時、軍手の手を入れる口（右手）がミキサー			10～

6	15	の中心の軸のボルト部分に引っかかり、右手首を巻き込まれ、右手首切創と骨折、及び右手親指の神経断裂をした。	60	10104	29
6	9~10	工場内でプレッシャーミキサー稼働中に、ミキサーの蓋についた生地をヘラで落としていたところ、ヘラをミキサー内へ落としてしまった。ミキサー停止ボタンを押してヘラを取ろうとしたところ、まだ動いていて右親指を負傷した。ミキサー内にはカステラ生地が入っており、停止したかどうか目視では確認できなかった。	21	10104	30~49
7	9~10	生麺室内で麺帯巻き取り作業中、複合機上部のフェンダーが作動していたが、フェンダー内に残存生地があったので複合機へ落とし込むため、フェンダースイッチを切らず左手でカバーを押さえ右手で残存生地を落としてる最中に、回転してきた羽根に右手指2本が挟まれた。※アクリル板カバーにリミットSW無（現状取り付けできないためとして）	38	10109	30~49
7	13~14	脱毛ラインにて、清掃中不要物除去のため、ライン作業終了を待たず、ライン稼働中に、スタナー電極ガイドとシャックルの間に左手を挟まれた。	25	10101	50~99
7	16~17	作業場で製麺機を使用して麺を試作中、麺切断用カッター（一定間隔で回転する）のスイッチが入った状態で麺の残りカスを除去しようとしてカッター周辺に手を入れたところ、カッターが回転して右手中指、薬指、小指がカッターと板の間に挟まった。	39	170209	10~29
7	14~15	研究所一階作業エリアで製麺機の性能テストを実施中に高速で回転する圧延機のロールに麺帯を手で送り込む作業の際に麺帯が手からみついた状態となり麺帯と一緒に左手が圧延機のローラーに巻き込まれ負傷した。研究用のもの。本来はコンベアを設置して、麺を自動搬送なものであるが、災害発生時は、当該コンベアを外し、改良作業をしている際に発生した。	55	120109	100~299
		麺を製造している時に、第1ローラーの下に製品が溜まり、下から出そうと体を第1ローラーと第2ローラーの間に入れた際、右肩の服が、第2ロー			

7	8~9	ラーのシャフトのボルトに引っ掛かり、そのまま捲かれ、右腕がシャフトの下に挟まった。服を切るまで10分くらい圧迫され上半身のあちこちに内出血が見られ、数カ所切り傷があった。	69	10109	1~9
7	14~15	当社工場内において、包餡機を使用し餅菓子を製造していたところ、ベルトレール部に小さな不良品があったため、除去しようとした際、機械を作動させたまま左手を奥に入れてしまい、包餡機可動部に左手先が当たり、中指先を負傷した。	58	10104	30~ 49
7	7~8	きのご培地のビンに穴を開ける機械で（台座をモーターで上下させ16本のビンが入ったコンテナを持ち上げて穴を開けていく）台座が一番上に持ち上げられた状態で止まってしまい、下げるためにモーターブレーキを解除し台座を上から押した。その時に台座とフレームの間に足先が入っていたため挟まれ負傷した。	65	10109	50~ 99
7	5~6	どらやきの生地を焼くため、機械へ生地をながしていたところ、ネジの締めが不十分だったため、部品（バー）がはずれてしまった。それを直そうとしたところ、まだ機械が静止する直前だったため、指が巻き込まれてしまいバーの圧力が指にかかり、左人差し指が裂傷、骨にヒビが入り、左中指先内出血となった。	26	80209	30~ 49
7	11~12	加熱調理室にて、脱水機の洗浄をする際、水を流す蛇口があり扉を開けた際に避けきれず、機械とポールの間で足を挟み左足の太腿付近に打撲と裂傷を負った。	60	10109	100 ~ 299
7	22~23	たこ焼きの食品工場にてタコ投入機の洗浄作業中、本来機械を止めて持ち手のあるタワシを使用して洗浄すべきところを、機械を止めずに持ち手のないタワシで洗浄していたため、機械の回転軸とバーの間に左手中指が挟まれ受傷。	37	170101	500 ~ 999
7	9~10	魚肉ミキサー機で魚肉をミンチにする際一旦機械をSTOPさせて、ミキサーが完全に止まる前に取り出そうと右手を入れて事故となった。	58	10102	1~9
		3階生麺室の中華生麺の生産開始時に複合機から出てきた麺帯を熟成庫のハンガーコンベアに乗っていることを確認しようと熟成庫に入ってずれ			100

7	11~12	ている麺帯を直そうとした際にチェーンとスプロケット部に制服の左そでを巻き込まれて左手親指のつけ根部分を被災した。	43	10109	~ 299
7	8~9	本社工場の、1階茹麺室中華そばラインにて、麺の切刃の交換作業をしている時、Aのスイッチを切った確認をせず、(Bの歯車が動いたまま)Cの切刃を持ってセットしてしまい、BとCの歯車に右手中指先を挟まれ、第一関節上裂傷骨折をしてしまった。本来ならAのスイッチを切って、歯車を停止を確認してから交換する手順だった。	23	10109	50~ 99
7	15~16	第3製造計量2ラインにおいて製品を計量・充填中に空袋が機械の間に数枚落ちたため、一旦停止した。作業員Aが作業員Bと落下原因について話し合っていた時に、被災者が空袋を取ろうと機械に体を入れた。その時に作業員Aが周囲を確認せず、寸動状態で機械の起動ボタンを押したため、機械が手前に下がりながら回転した。そのため、機械に体を入れていた被災者が機械の下の部分と下がってきたフタに挟まれて負傷した。	41	170101	50~ 99
7	13~14	当社工場内において、被災者がパン用ミキサーの清掃作業を行っていた。ミキサー内部の生地を取り除く際にスクリューを手動で回していたところ、誤ってヘラをミキサー内部に落としたので、右手で取ろうとした。この時、回転途中のスクリューに手を挟まれ、右手小指擦過傷、右第4、5中手骨基部骨折の怪我を負った。	42	80209	10~ 29
7	13~14	工場内で、エアシリンダー式突き機での製品(トコロテン)を突き出す作業中、製品に右手を添えたままスイッチを押したため中指がシリンダーとカバーに挟まり、切断された。	57	170101	1~9
7	13~14	工場内で、エアシリンダー式突き機での製品(トコロテン)を突き出す作業中、製品に右手を添えたままスイッチを押したため中指がシリンダーとカバーに挟まり、切断された。	57	10109	10~ 29
7	12~13	工場にて作業中、製品を包装する機械でフィルムの進みが悪かったため、手で進めていたところ、フィルムのカット機で左中指を挟み負傷した。	37	10109	30~ 49

7	14～ 15	工場にてとうもろこしの皮むき作業中、皮むき機（ローラー）に右手手袋中指の指先がとられてしまい、自分でとっさに引いた。救急車が来るまで冷蔵庫の氷で冷やすと共に血液止めを行った。	67	10103	10～ 29
7	15～ 16	総菜作業場内で、カツ丼製造のため、業務用米飯成型機から米飯を計り出す作業をしていたところ、誤って米飯成型機の下の部分に指を入れてしまい、右手中指をローラーに挟み負傷した。	22	80209	100 ～ 299
7	18～ 19	米飯蒸米工程で、焼豚詰まりトラブル発生時の復旧作業中、焼豚投入用傾斜スクリーCY投入口にて、スクリーが動いたまま手を入れて詰まりを除去したため、そのままスクリーに指を巻き込まれ被災した。	48	10109	300 ～ 499
7	18～ 19	作業中、採肉機で中おちの端材を引いているとき、話をしているよそ見をした瞬間に、右手が原料ごと機械に持っていかれ、右手肘まで機械の中に入ってしまった。安全教育済みであったが、原料を押し込める際にT字棒を使用していなかった。	22	10102	100 ～ 299
7	15～ 16	秋の作業が始まる前日、栗を圧して実を取り出す機械の準備にとりかかり、スイッチを入れて清掃していたとき、誤ってローラーに手を入れてしまい、指が切断された。被災者一人が部屋にいて機械を動かしていたため、他に目撃者もなく、本人もよく覚えていないということで詳しいことは分からないが、ローラーに巻き込まれて指を切断したものである。	45	10104	30～ 49
7	12～ 13	工場内でアジの皮引きを行う際、ベルトにのせてアジフィレを流し、別の労働者が皮引き後のフィレ受け取りを行っていたときに、皮引きがうまくいかず行き詰まり、止まってしまった。行き詰まりを解消するために手を入れたときに戻って、巻き込み口に手が接触し、巻き込んだ手袋に引っ張られて、手を巻き込んでしまい、手の甲の皮が手首付近まで捻れた。	20	10102	30～ 49
7	10～ 11	本部工場ティーバッグ製造部において、お茶のティーバッグ製造作業中、原料のお茶の重さを調整するため、計量升のつまみを動かしていたときに、すり切り可動部に右手薬指を挟み込み、指先から15mmの部分を	57	10109	30～ 49

		切ってしまった。			
7	10～ 11	えびせんべい製造工場内で、製造中のせんべいに味付する機械が急に止まってしまったため、ベルトの動きを手で助けつつ、機械の調子を見ていたとき、ベルトに巻き込まれて、右手中指を負傷した。	63	10104	1～9
7	7～8	パン生地をローラー機械に流しているとき、手に粉を付けるため、機械奥にある粉入れ容器に手を入れようとしたが、手前にある機械(ローラー)に手を入れ負傷した。当時、粉入れ容器の置き場所が変更されていた。	40	80209	1～9
7	5～6	出来上がった麺を並べる作業中に、包装機に挟まった麺を取ろうとして、スイッチを切らずにそこへ手を入れてしまったため、機械に挟まれて手を負傷した。	63	10109	1～9
7	14～ 15	焼きそばのミキサー作業において、ミキサーの清掃作業を行っていたとき、生地が奥に残っていたため、蓋を閉めて寸動ボタンを押した。その後、そのまま蓋を開けたところ、機械は止まったが惰性で回っているピンとミキサー壁面に入れた右手を挟まれた。	41	10109	100 ～ 299
7	15～ 16	被災者は、ミンチ作業終了後、通常通り電源を落とし、ミートチョッパーを分解して亀の子タワシでこすり洗いしていた。機械本体上部のスクリューを洗っているときに、機械本体とスクリューの隙間に右手小指が入ったため、慌てて引き抜いたところ、スクリューの縁で小指上部を裂傷した。	31	10102	300 ～ 499
7	21～ 22	店内厨房でクローズ作業中、そばの押し出し製麺機を清掃していたとき、手順を誤ったまま清掃を行ってしまい、指を挟んで怪我をした。	19	140201	10～ 29
7	17～ 18	惣菜工場にて、しゃり攪拌機の洗浄作業のため、内部に手を入れたとき、止めたつもりが切れていなかったため、右腕が巻きこまれ、攪拌する棒が右手の平と甲に刺さって負傷した。	60	10109	50～ 99
		骨付きもも肉を機械に掛ける作業中、機械の奥に骨が詰まったので、手を入れて取り除こうとした。本来機械の異常が見つかった場合には、社			100

7	13～ 14	員を呼ぶか、機械を止めることがルールで決められていたが、生産性を重視する雰囲気の中、機械を停止することができず、さらに防刃手袋を着用している左手ではなく、右手を入れてしまったため、刃部分が手の甲に触れ、腱を断裂することとなった。	62	10101	～ 299
7	13～ 14	骨付きもも肉を機械に掛ける作業中、機械の奥に骨が詰まったので、手を入れて取り除こうとした。本来機械の異常が見つかった場合には、社員を呼ぶか、機械を止めることがルールで決められていたが、生産性を重視する雰囲気の中、機械を停止することができず、さらに防刃手袋を着用している左手ではなく、右手を入れてしまったので、刃部分が手の甲に触れ、腱を断裂することとなった。	62	170101	500 ～ 999
7	10～ 11	海苔の攪拌機（縦270mm、横500mm、高さ80mm、重さ230kg）の組み立て作業をしていた。架台（縦2700mm、横500mm、高さ200mm、重さ180kg）に取り付けた軸（直径50mm、高さ70mm）、受主軸（直径80mm、高さ70mm）と減速機（縦300mm、横300mm、高さ500mm、重さ50kg）出力軸をはめ込む際に、減速機を吊り、バンドで縛り、ホイス（クレーン）で吊り上げ、キーの位置を合わせたあと、軸が少し入るまで、手元スイッチでホイスを下げ、減速機を降ろし、軸が真っ直ぐになったときに減速機を降ろしたところ、スパンサーパイプ（直径34mm、高さ100mm）に左手を置いていたため、左手薬指を挟んで骨折した。	70	11301	1～9
7	8～9	パイナップルを円筒状に削り貫く機械にて、パインを掴んで固定する金属のアームと、アームを水平に一時固定する金属のストッパーに右手を巻き込まれ、中指と薬指を挟んだ。	47	10106	—
9	18～ 19	工場にて、キャラメル製造機のちねり機という機械での作業中に、指を挟まれ出血・腫れの症状で夜間病院にかかる。ちねり機とは、キャラメルをねじ切り、それを包装紙で包む機械になっている。包装されたキャラメルをスタッフが指で落とさなければいけないのだが、その指で落とす工程の中で、機械の爪に手袋が挟まり指が巻き込まれる。	25	170101	100 ～ 299
	18～	被災者は、キャラメル製造機のちねり機から包装されたキャラメルを落			50～

9	19	とす作業中に指が挟まれ受傷した。	25	10104	99
9	13~ 14	当日は、フレッシュ若芽カット作業を行っていた。午後の作業開始直後、裁断していた若芽が刃の部分に詰まったため、安全カバーを右手で持ち上げて電源を切り、設備をOFFにして左手で詰まりを取り除こうとした。刃がすぐに止まらないことを注意しないで手を刃の部分に入れてしまい、まだ止まっていない刃に、左手指が切断された。	38	10102	30~ 49
9	9~ 10	カニカマ用の真空パックを平らにする（延ばしの状態にする）ために、圧縮ベルト（上下にゴム製ローラがあるその間に真空パックを挿入する）に、右手で真空パックを挿入設定していたが、設定の調整の際にスイッチを一時停止にしないまま行った為、右手が圧縮ベルトに挟まれてしまい負傷したもの。	48	10102	10~ 29
9	10~ 11	サービス付高齢者向け住宅の調理場で、ブレンダーを使用して食品を細かく切る作業をしていた。その際、ブレンダーの刃に挟まったりんごを取り除くため刃の部分に指を入れたが、同時にスイッチが入り刃が回転してしまい指を負傷した。	75	130309	10~ 29
9	10~ 11	十勝バタースティック生産中、整形室にてツイスター下部のベルトに付着した生地を取り除こうとした際、軍手をして除去していたところ、除去しきれなかった生地を追いかけてテンションローラーに近づき、テンションローラー上部の隙間に軍手の先が入り、そのまま腕まで巻き込まれたものである。	24	10104	500 ~ 999
9	13~ 14	工場のパイ製造室でパイローラーを清掃中に、機械に清掃用タオルが巻きこまれ、それと一緒に左腕も巻きこまれた。	31	10104	10~ 29
9	8~9	職場で、作動中のミキサーのふたを開け、ふちについているしぼりかすを中へ戻そうとしたときに、右手中指が回転しているミキサーの刃に触れ、切傷した。	21	140209	10~ 29
9	14~	工場内で天板からドーナツを抜く工程で、抜き専用台に当てドーナツを抜く際、天板と抜き台に指を挟んでしまった。その後、指は痛かったが	60	170101	100 ~

	15	自然に治ると思い数日仕事をしていましたが、段々と腫れてきた為、病院へ行った。			299
9	14～15	工場洋菓子3課フィナンシェラインにおいて、焼きあがったドーナツを天板から抜く作業を行っていたところ、天板と抜き台に右手薬指を挟んでしまった。その後、痛みはあったが自然に治ると思い数日仕事を続けたが、腫れがひどくなったため、病院を受診した。	60	10104	1000～9999
9	9～10	当社工場内にて、乾麺製造作業中、原料の入れ替えの為、製麺用攪拌機の清掃をしている際、内部の枠と回転器具との間に手を挟んでしまい負傷した。	61	10109	1～9
9	1～2	工場内で包装機のベルトが機械の不具合でとまってしまった。ベルトを引っ張れば動くと思い、ベルトローラー部付近に手を入れ、他の作業者がスイッチを押して稼動状態にして、ベルトを引っ張るつもりだったが、予想以上にベルトの回転がはやく、ベルトとローラー部に指を挟まれ負傷した。（本来故障しているベルトとは違うベルトをさわっていた。またカバーはついており、開けると機械は止まる構造になっているが、カバーのすき間に手を入れていた。）	36	10104	300～499
9	7～8	右の製麺機において?の部分がローラーになっており不注意で左手が挟まり、左手を取ろうとして右手も挟まった状況である。	64	10109	1～9
9	9～10	畜産作業場でのミンチの加工の時に、ミートチョッパーの本体の詰まりを通常専用の棒を使う所急いでいた為、手で押し込み指の先が引き込まれた。	26	80209	100～299
9	13～14	工場作業中製品袋詰めを自動包装機①操縦者担当②印字袋等の管理担当の2名で作業、印字確認の際、キカイ内に腕を入れる為必ずキカイは停止、キカイ内は袋を取りあげるアームが円板状8セットあり回転、この確認中①が動かしてしまい②の腕にアームが回転しながら腕を引っ張るようあたり損傷。翌日腕に違和感を感じ病院にて受診、様子をみながら仕事をきていたが、その後痛みが増し検査の結果、腕を動かさないようギプスで固定となり、仕事を休業となる。	59	10109	10～29

9	16～ 17	おにぎり成型機の稼働中、詰まりが発生したため、咄嗟に手を入れてしまい、動いている機械に指を挟んで負傷した。	20	10109	300 ～ 499
9	11～ 12	ポコットチーズ包装機の台紙装置の動きが悪く、設備保全担当である作業員と2名で修理作業をしていた、装置の確認をするため、駆動部カバーを外していた、途中、作業員Aが別の装置の機械の調子が悪いと呼ばれ、その場を離れた、作業員Bは、トイレへ行き、戻ってきてから作業を再開したが、それよりも早くに作業員Aが走ってきており、包装機の下に滑って作業していた、作業員Bは、作業員Aの存在に気付かず、スタートボタンを押してしまったため、作業員Aの右手人差し指の先端が駆動部のチェーンに挟まり、裂傷したものである。	25	10103	500 ～ 999
9	10～ 11	麺線作業中にローラーに手をはさまれた。	62	140201	10～ 29
9	16～ 17	第1工場第四作業室味付4ラインにおいて作業終了後、機械を停止せず海苔集積ローラー下部をスタンダード（清掃用布）で清掃中、スタンダードと共に左手を駆動チェーンに巻き込まれ負傷した。	27	10102	300 ～ 499
9	7～8	天ぷらの機械のギアを入れるときに刃の下に手を置いていたので、刃にはさまって右手の親指の先がつぶれた。	45	10102	30～ 49
9	13～ 14	解体室で、ガラ落下装置を調整中に、ガラ落下装置のガイドが落下しないように、手で支えていたら、鶏の首を掛けるシャックルがガイドに引っかかって流れ、シャックルが元に戻ろうとして負荷がかかりその反動でシャックルが外れて、左手人差し指付け根をシャックルとガラ落下装置のガイドで挟み込んだ。	56	10101	100 ～ 299
10	8～9	当社作業場にて、玉ねぎの選別作業の茎葉処理機部分で茎葉と根を取る作業中、6本の棒状のローラーが動いている中、茎葉を取り除こうとしたところ、不注意で手袋がローラーに挟まり手も巻き込まれてしまった。	26	60101	1～9
10	10～	工場内の攪拌作業前にて、攪拌電源を作動したまま攪拌機の中に付着し	64	10102	10～

	11	ていた水滴を拭こうとして誤って手を入れた為、右手を負傷。			29
10	8~9	工場内で、冷凍スライサーでの作業を終えた際、機械が完全に停止する前に触れ、右手を負傷した。	34	10101	30~ 49
10	9~ 10	店内作業場で挽肉作業をしている時に、挽肉機械を停止せず機械内の肉を押し入れようとして、右手指を入れ切断した。押し棒あり（ミンチ機、チョパー）機械入れ替え予定→新しい機械設置は未設置。	63	80201	1~9
10	1~2	仕込工程で生産終了後の清掃作業に送液ギヤポンプ付きのタンクをお湯洗いしていた。通常通りの回数洗いを入れお湯を抜いたが、タンク内に残渣が出ており、残渣をタオルで拭き取ろうとした結果、タンク内のギヤポンプにタオルを巻き込んでしまった。巻き込まれたタオルが破損し、ギヤポンプ内にタオルの破損片が残り、慌てて破損片を取り除こうとギヤポンプに手を出してしまい、左手中指の第一関節から上部分を挟まれてしまい、損傷した。	49	170101	50~ 99
10	14~ 15	チョコレートの溶解タンクにチョコレート粒を投入後、チョコレートの溶け具合を確認中、溶解タンクの中の回転中のバー上にチョコレート粒が落ちずに残っていることに気付き、左手に持ったマイナスドライバーでチョコレート粒を下に落とそうとした際、バーが回転している状態で行った為、バーと溶解タンクの周囲の間に左手が巻き込まれ、負傷した。	65	170101	50~ 99
10	14~ 15	チョコレートの溶解タンクに、原料のチョコレートの粒をボウルで入れながら作業をしていたら、チョコレート溶解タンクの回転バーの上にチョコレートの粒が残っていた為、回転しているバーに左手でマイナスドライバーを持ち、落とそうとしたら、チョコレート溶解タンクのバーと溶解タンクの周囲に左手が巻き込まれてしまった。	65	10104	30~ 49
10	22~ 23	ダクワーズ2号ラインの菓自動投入機の不具合があり、機械の稼働を停止し調整を行った。その後機械停止を解除したところ、別の作業者が調整が終了したと思い、稼働スイッチを押したが、それに気付かず、調整のため機械に指を近づけたところ、挟まれて指を損傷した。	43	10104	100 ~ 299

10	14～ 15	当社工場内にて、円柱状（直径50cm・長さ200cm）の回転式毛取器に、原料（山菜）を投入していたとき、投入口からこぼれた原料を取り除こうとしたところ、回転体の駆動部分に右示指が触れ、そのまま挟まれてしまい受傷した。	21	10109	50～ 99
10	11～ 12	厨房内の作業場で切り込み作業中、フードプロセッサーで使用方法の誤りにより左中指を負傷した。 ※使用方法 正) スイッチをoffにする→完全に止まってからカバーを外す→中にある刻んだ野菜を取り出す。 誤) スイッチをoffにした時に、完全に止まる前にカバーを外した為に中のディスク刃で左中指を負傷。	48	130201	50～ 99
10	8～9	パン工房厨房にて、パン生地を平たく伸ばす作業をモルダーという機械を使って行っていた。 機械に投入した生地にゴミの付着を確認し取り除こうと手を差し出したところ、機械に右手第3、4、5指を巻き込まれてしまい右手第3、4、5末節骨の骨折、同じく右手第3、4、5指の腹部分を裂傷してしまう。 原因としては、不注意で生地投入口から右手を入れた事と、機械に緊急停止装置がなかった事、また安全管理運用マニュアルが当設備になかった事があげられる。	37	130201	1～9
10	18～ 19	味付のざらめ掛けの作業で、ざらめが出て来る穴が詰まっていて、直そうとした時に、機械を止めずに穴に指を突っ込んでスクリューに指先を巻き込まれたもの。	30	10104	300 ～ 499
10	14～ 15	当社工場で作業中、製麺作業終了直前の複合機に流す生地を手で均していた際、異物を発見し、それを取り除こうと手を入れたところ、複合機に生地を押し込む機械を停止しなかったため、押し込み機に右手人差し指を挟み負傷したもの。	28	10109	100 ～ 299
10	14～ 15	生地棟1階乾燥場10号生地乾燥機稼働中に異常音があり、不具合を治そうとテンション調整部分のボルトをスパナで回すため、Vベルトカバーに左手を着いたところ、軍手がVベルトに巻き込まれ、左手を負傷した。	52	10104	100 ～ 299
10	23～	惣菜加工場内にて、電源スイッチを切らずにシャリクーラー機の洗浄を行っていた。 シャリほぐしの回転歯車の部分に右手手袋が引っかかって	46	10109	100 ～

	24	巻き込まれ、中指・薬指・甲を裂傷した。			299
10	15～ 16	うどん場にて、電源を切って製麺機のベルトを交換していた。交換中にローラとベルトの間に右手の指先を挟んだ。	31	80209	10～ 29
11	15～ 16	タルト生地をプレス機にて成型中、生地の原料が飛び散っていたため清掃しようと思いプレス機の電源スイッチを切って手を入れたところ、機械が止まったと思い込み挟まれ被災した。	30	170101	1～9
11	15～ 16	被災者は工場にて、タルト生地をプレス機で成型中、生地の原料が飛び散っていたため掃除しようと思いプレス機の電源スイッチを切って手を入れたところ、機械が止まっておらず、右手を挟まれ受傷したものである。	30	10101	100 ～ 299
11	13～ 14	そば粉をミキサーで混ぜる作業を行い、ミキサーのL字型に開く蓋を開けた時に強く開けた為に、跳ね返って閉まり、指を挟んだ。	23	10109	1～9
11	11～ 12	被災労働者は、当社工場内にて、野菜カット作業中、ハウレン草をラインに流していたところ、ハウレン草が大量に流れたためカッターの所で詰まってしまい、それを取り除くため左手をカッター付近に入れたところ、機械の停止スイッチを押していなかったため、カッターが動き、誤って左手中指を受傷したものである。	27	10103	10～ 29
11	13～ 14	工場にて、がんもの成形機でがんも種を造る作業中、誤って成形機の回転している型に指を挟み、右手示指の末節から先を切創した。	49	10109	100 ～ 299
11	4～5	別館1F炊飯加熱室内の炊飯2号機における釜の洗浄機の反転機（前倒れ式）に蓋が引っ掛かった状態となっていた為、当該蓋を取り除いたことにより、止まっていた回転部が動き出し、左手中指の先が挟まれたことにより受傷した。	30	10109	500 ～ 999
11	13～ 14	原料（チョコレート）の計量作業中、原料が不足し、前工程（原料を細断する工程）で原料を補充しようとしていた。その際、装置内の原料も掻き出そうと安全カバー内に右手を進入させたところ、刃で指を切創し	41	170101	100 ～

		た。			299
11	13~ 14	ガナッシュ（チョコレート）を切断機を使用しカットしている時に、安全ガードを越えて手を出してしまったことにより、切断機に指を切られてしまった。	41	10104	100 ~ 299
11	17~ 18	厨房内にて閉店作業中、そば打ち機器のコンプレッサー（空圧）による上下動する圧縮板を停止させ作業をしていたが、不注意でONのスイッチに触れ機器が作動してしまい、右手中指が機器の間に挟まれ指先を6針縫う負傷をした。負傷後は救急車で病院へ搬送された。	46	80209	10~ 29
11	11~ 12	工場内餃子成形機械で、餃子の具をニンニクの入ったものからニンニクなしに切替する為、機械のホッパー（餃子の入っている容器）の底コック部分（1コ分の量を押し出す部分）に指を入れ餃子の具を取り除いている時、他の従業員が成形機の可動ボタンを押した為（声かけはしたが聞こえていなかった）指先が巻き込まれ、右手中指先端5mm程切断した。	41	10109	100 ~ 299
11	21~ 22	焼きおにぎりライン6号成型機にて、成型機のカップ部に付着した米を取り除こうと、成型機カバーの安全装置（近接センサー）のパスワードを入力した。安全装置を解除し、成型機を動かしたままカップ部に手を近づけてしまった為、ロックアウトのカップ部分とプレートとの間で指を挟み負傷した。	44	170101	500 ~ 999
11	21~ 22	焼きおにぎりライン6号成型機にて、成型機のカップ部に付着した米を取り除く時に、ロックアウト部に成型機を動かしたまま米を取り除こうとした。成型機カバーには安全装置（近接センサー）が付いている為、パスワードを入力し安全装置を解除した。成型機を動かしたままカップ部に手を近づけてしまった為、ロックアウトのカップ部分とプレートとの間で指を挟み負傷した。	44	10109	300 ~ 499
11	6~7	朝一の拭き掃除の際、右手でダスターを持ち拭いていた時、右手肘から手の先がローラーに巻き込まれた。	62	10109	10~ 29
	10~	工場1階でアイスクリーム充填機が動いている時に、注ぎ口付近をダス			50~

11	11	ターで拭き掃除しようとしたら機械に挟まって、人差し指が創傷し骨折した。	44	10104	99
11	9~10	本社工場内において、スライサーでキャベツをスライスする作業中、マニュアルでは野菜がスライサーに挟まっても、スライサーの動作中は取り除いてはいけないことになっていたが、スライサーが動作中にも関わらず、挟まったキャベツを取り除こうとしてしまった。その際スライサーの刃が左手中指に触れてしまい、左手中指の末節骨を開放骨折した。	21	10104	—
11	11~12	当社脱甲工場内で、カニの甲羅を外す作業中、脱甲機のレーンにカニが流れて来るのを待っている時、動いている脱甲機のレーンの上に右手を置いてしまい、右手親指先を機械に巻き込んでしまった。出血も少なく、痛みもなかったのではばらく様子を見ていたが、右手全体が腫れてきたので病院へ行った。	20	10102	50~99
11	16~17	工場1階作業場で、昆布の切断作業をしている時、昆布と一緒に右手人差し指から小指までを、切断機に巻き込まれた。事故原因は、昆布切断機の回転刃を覆っている安全装置のカバーを外し、又自動停止スイッチをオフにしていたためと考えられる。	47	10102	10~29
11	4~5	工場内にてぶつ切り機を使用し、鳥肉を切っていた際、回転しているぶつ切り機の突起しているボルトに誤って、左腕が当たり負傷した。	78	80109	10~29
11	14~15	店内奥にて食パンをスライサーで切り袋に詰める作業中、普段ならば切り終えたパンが回転中の刃より遠い下の位置で受け取るところを、急いでいた為、慌てて刃の近い位置で取り出し、左手人差し指、中指が接触してしまい先端一部を切創してしまった。	20	80209	50~99
11	8~9	生産加工部の部内で穴子のきざみを作成中きざみに使う機械に穴子を投入し、上から押し込んだ際押し込み過ぎて、右手人指し指の爪の裏あたりを骨折した。	45	80209	100~299
	16~	当社加工センター工場内で、裏漉し器の電源を切った状態で、容器の底に残った焼き芋を手で奥に押し込んだ時、無意識に電源スイッチを押し			30~

11	17	てしまったため、右手の中指が裏漉し器のスクリューに巻き込まれ、指先を切断した。	30	10103	49
12	9~10	せんべいの製造工場内でバターせんべい焼成器の漏斗状の部分に生地を流し込み、残り少なくなった生地を集めたときに奥まで手が入ってしまい、スクリューに右手首から右尺骨を挟まれた。	44	10104	10~ 29
12	17~18	製造盛付ラインで、成型機の舍利詰まりを直すためにカバーを外し舍利を取り除いていたところ、舍利リフターが上昇して来て、慌ててカバーを取ろうとした際に、リフターフレームとカバーに右手薬指を挟まれケガを負った。	23	10109	300 ~ 499
12	13~14	ハンバーグ製造室にてハンバーグを製造中に、ハンバーグ成形機を稼働させながら、ホッパ内の残りの挽き肉を下に落とすために手を入れ、回転羽に指を挟まれてしまった。	61	10109	—
12	6~7	工場内にて、パスタ充填機の調整を行っていた際、設備を停止せずにネジを締める作業をしたため、パスタ投入部に巻き込まれ左手中指付近を裂傷した（3ヶ所15針程縫合）。	41	10109	100 ~ 299
12	8~9	麺製造作業現場で、作業の空き時間にローラー側面樹脂板についた生地カスを取るため、ビニール手袋を着けた状態で、ローラーが動いている中、左手を入れ、付着した生地を取ろうとしたが手袋の先が挟まり、抜こうとしたが引き込まれ、中指・薬指・小指をローラーに挟まれた。尚、骨に異常はない。	69	10109	1~9
12	17~18	本社第1工場の油調室でフライヤーの清掃作業中、機械が動いていることに気づかずにシュートを取り外そうと機械に右手を入れたため、アタッチメントと串落としバーの間に右手首を挟まれた。	29	10109	100 ~ 299
12	17~18	工場内の餅作業場で鏡もちを製造する機械を清掃中、左手人差し指で機械に付着した餅を取り除いていたところ、誤って機械のスイッチに体が当たり、機械が始動して指を切断した。	33	80209	10~ 29
		工房内において、パン生地成形機を掃除中、電源を止めてローラー上部			

12	11~12	の蓋を外して掃除すべきところを、蓋を外さず、起動している状態で、ゴム手袋をして布巾でローラーを拭いていたところ、布巾がローラーに巻き込まれると同時に手袋も巻き込まれた。指がローラーに挟まったため、直ぐに電源を停止させた。	45	10104	50~ 99
12	16~17	スイーツ工場において、パイ室のパイマシーンを使用し、チーズケーキグラハムクラッカー（ブロック状）の生地を、2つのプレス工程を通してシート状にする作業をしていた。最終工程で、小さい生地を機械へ入れようと投入口に手を入れて巻き込まれた。	60	10104	500 ~ 999
12	18~19	しぐれ原材料加工ラインにて、高速スライサーを清掃中、ベルトコンベアギア部分に右手指先が巻き込まれた。	21	10101	30~ 49
12	9~10	ネギカット機械にて作業中、ねぎを押し込む際に指ごと奥に入ってしまった、親指先端を巻き込んで切断した。	17	140201	10~ 29
12	14~15	当社作業所で、自動餅つき機で餅つき作業をしていたとき、機械に手水を注入する際、手水計量カップを自動餅つき機の臼の中に落とし、拾おうとして誤って右手を入れたために負傷した。	17	10104	50~ 99
12	16~17	厨房で鶏肉をミンチにする作業をしている際、鶏肉をミンチ機に手で入れているとき、誤って左手を入れすぎ、左手中指がミンチ機に巻き込まれて負傷した。	44	140201	1~9
12	9~10	厨房内の餅加工場で餅つき作業中、つきあがった餅を臼から取り出す工程で、臼底部の羽根と臼側面についている羽根の隙間に左手を深く差し込みすぎたため、餅と共に巻き込まれ、左手中指の先をその隙間の部分に食い込ませて損傷した。	48	80209	10~ 29
12	23~24	工場内で製造作業の巡回中に、タコ焼き機の駆動部分（タコ焼きの鉄板が水平移動する部分）にタコ焼きのこげが落ちていることに気づき、機械を停止せずに左手でこげを取ろうとしたところ、鉄板が動いてきて、親指を挟まれて切断した。	47	10109	30~ 49
		炊飯製造中、炊きあがったご飯を3枚の回転羽機でほぐす際、ほぐし羽に			

12	13~14	左手のビニール手袋が絡まり、手をとられ、手の平に5cm、手首から腕にかけて10cmの裂傷と左手腕に打撲を負い、怪我した部分を止血し、治療した。本来は、機械を止めてからするべきところを、止めずに行ってしまった。また、安全カバーがあり、ずらすことでほぐし羽根が停止するのだが、慌ててしまい、それを忘れていた。	64	10109	100 ~ 299
12	11~12	本社工場内で、菓子の製造中、機械に生地を補充する際に誤って手を挟んでしまい、右手を負傷した。	20	10104	50~ 99
12	10~11	釜あげしらすトップシール機（チェーン駆動の可動機）において、トレー圧着部のしらすを取り除く作業を行っているとき、トレー上の異物を追いかけすぎて、圧着ローラーに指が巻き込まれてしまった。	48	10102	30~ 49
12	13~14	製造したパンをカットする作業場で、機械でパンをカット中に、本人の不注意により、誤って機械で指を挟み、右手人差し指上部に裂傷を負った。	22	10104	10~ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_08.html